



踊りで地域を元気に 竹野から広がる笑顔の輪

舞踊家

わかなさん

本名：仲才和佳奈さん。竹野町在住。2歳から中学校卒業まで竹野町内の教室で日本舞踊を習う。卒業後は、大衆演劇の劇団に入団し、約7年間、全国を巡業しながら舞台へ出演した。地元竹野へ戻り実家の旅館業の傍ら、フリーの舞踊家として活動を開始する。



▲わかなさんの登場で敬老会が大いに盛り上がった



Facebook



YouTube▶

踊ることが大好きな私のモットーは、まずは自分が踊るを楽しむことです。私自身が楽しくないと踊りを見ている方も楽しい気持ちにはなれないと思うからです。

17年前、劇団を退団して竹野へ戻りしばらくした時、私の踊りを通して地域を元気にしたいと思うようになりました。江戸時代、北前船で栄えた竹野には芸者がいてにぎわっていたそうです。海に加えて、踊りが新たな魅力の一つになればと考えています。

今では、多くの方とのご縁により敬老会やコミュニティの文化祭などへの出演依頼や、YouTubeを見た市内外の方から声を掛けていただくこともあります。敬老会などで直接踊りを見た方から「元気が湧いた」「頑張ろうと思った」「来年もよろしく」との感想をいただき、逆にこちらが元気をもらうことがあります。

将来は指導者側にとしつつも、まだまだ私自身が活動できるうちは皆さんに踊りを届けることで、竹野を知ってもらうきっかけになれば嬉しいです。

Toyooka Topics —とよおかの“旬”な話題—

国際科学オリンピックで世界4位 池上十和子さんにコウノトリ賞を授与

カニ殻からバイオプラスチックを生成する新規微生物の探索と同定をテーマに研究を行った池上十和子さんは、近畿大学附属豊岡高校在学中にリジェネロン国際学生科学技術フェア2024(国際科学オリンピック)で世界4位、文部科学大臣賞を3回受賞するなど、国際的にも顕著な成績を取られました。

本市では、その努力と栄誉をたたえとともに、これから世界の空に大きく羽ばたかれることを祈念し、スポーツ分野以外では初となる「コウノトリ賞」を授与することとしました。

2月15日、近畿大学附属豊岡高校の令和6年度卒業証書授与式に合わせ、豊岡市長から「コウノトリ賞」を授与しました。

「コウノトリ賞」を受け取った池上さんは「カニ殻の研究は、中学生の頃に自分でためになるのかなと思って取り組みを始めました。先生方や保護者の方にお

世話になって、それを支えてくださっている豊岡に、恩返しではありませんが、喜んでいただけたのなら、すごくうれしいと思っています」と笑顔で話してくれました。

池上さんは、東京大学でカニ殻からプラスチックを生成するための研究を引き続き続けるとのことです。



▲コウノトリ賞を受賞した池上さん

豊岡市 SNS



各施設・事業の SNS



*広報とよおかは豊岡市公式ホームページやスマホアプリのマチイロでも読むことができます。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境に優しいベジタブルインキで印刷しています。

編集 豊岡市秘書広報課
〒668-8666兵庫県豊岡市中央町2番4号
☎0796-21-9035 FAX24-1004

本庁 ☎23-1111
振興局 ☎42-1111

城崎 ☎32-0001
出石 ☎52-3111

竹野 ☎47-1111
但東 ☎54-1000